

VR マウス

M-VRF01 シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム VR マウス「M-VRF01」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは「M-VRF01」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終ったあとは、大切に保管しておいてください。
※ このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-VRF01」シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- ⊘ 「してはいけないこと」を示します。
- ❗ 「しなければならないこと」を示します。
- ⓘ 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 🔧 「お読みいただきたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告** 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、本製品から電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、接続機器を終了させ、火傷しないように発熱していないことを十分確認したあとで、本製品から電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品の電源を OFF にして、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 警告** 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
- 注意** 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - ・日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所
 - ・暖房器具の周辺など高温になるところ
 - ・多湿なところ、結露をおこすところ
 - ・平坦でないところ、振動が発生するところ
 - ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ・ほこりの多いところ
- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからない場所で使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- スマートフォンやスマートフォンのマウス用途以外には使用しないでください。
- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射する場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
- 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■電池について

- 注意** 本製品には単 4 形アルカリ乾電池、単 4 形マンガン乾電池、または単 4 形ニッケル水素 2 次電池を使用してください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には FH-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
 ・本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。
 ・万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
 ※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 警告** 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
- ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

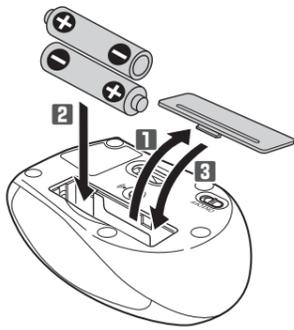
パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- ・マウス本体.....1 個
- ・動作確認用単 4 形アルカリ乾電池.....2 本
- ・ユーザーズマニュアル(このマニュアルです).....1 部

VR マウスの使用方法

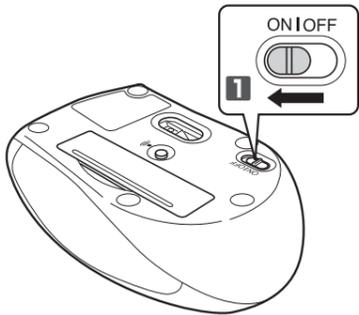
Step 1 電池を入れる



- 1 電池カバーを取り外します。
- 2 電池取り出しシートの記載に合わせて電池を入れます。電池取り出しシートが電池の下になるように入れてください。
 - ❗ 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。
 - ・電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。

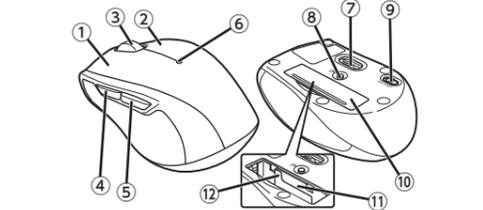
- 3 電池カバーを元通りに取り付けます。
 - 🔧 電池を交換するときは電池取り出しシートをひっぱって電池を取り出し、新しい電池に交換します。

Step 2 電源をオンにする



- 1 電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。電池残量表示ランプが一定時間赤色に点灯します。
 - ※電池残量が少ないときは、一定時間赤色に点滅します。
- 🔧 マウスの省電力モードについて電池の消耗を抑えるため、電源スイッチが ON の状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的に省電力モードに移行します。マウスを動かすと省電力モードから復帰します。※省電力モードから復帰後 2～3 秒間はマウス操作が不安定になる場合があります。

各部の名称とはたらき



- ①左ボタン
 - シングルクリック：選択・決定
 - フリック：画面や選択肢のスクロール・ドラッグ&ドロップ
 - フリックとはフリックした状態でカーソルを動かす動作のことで、
- ②右ボタン
 - シングルクリック：戻る
 - 2 秒以上長押し：カーソル動作 90 度補正
 - カーソル動作 90 度補正とは端末を横画面で使用する時、ホーム画面などが自動的に 90 度回転されない場合があります。その状態でのカーソル操作は 90 度方向が異なるため、非常に困難となります。そのような時に本機能を使用すると、カーソルの動きが時計回りに 90 度補正され、通常通りのカーソル操作が可能となります。補正を解除するには、もう一度「②右ボタン」を 2 秒以上長押しします。
- ③ホイール
 - 押し込み：ホーム画面を表示
 - 回転：画面や選択肢をスクロール
 - 🔧 機種やアプリの種類によっては、ホイール回転によるスクロールが無効となっているものがあります。その場合は「左ボタン」の「フリック」機能をご使用ください。

④サイドボタン(前) / ⑤サイドボタン(後)

- サイドボタン(前)
 - シングルクリック：音量を 1 段階上げる
 - 長押し：音量を一気に上げる
- サイドボタン(後)
 - シングルクリック：音量を 1 段階下げる
 - 長押し：音量を一気に下げる

⑥ペアリングランプ / 電池残量表示ランプ

- ペアリング待機状態の時、ホイールの周囲が赤色で点滅します。
- 電源を入(OFF)にしたときに、ホイールの周囲が一定時間赤色で点灯します。使用中に電池残量が少なくなると、赤色で点滅します。

⑦光学式センサー

マウス本体に電源が入ると青色で点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。

⑧ペアリングボタン

端末とのペアリングに使用します。

⑨電源スイッチ

マウス本体の電源を入(OFF) / 切(OFF)します。



⑩電池カバー

このカバーを取り外して、電池を入れます。

⑪電池収納部

電池を収納します。

⑫電池取り出しシート

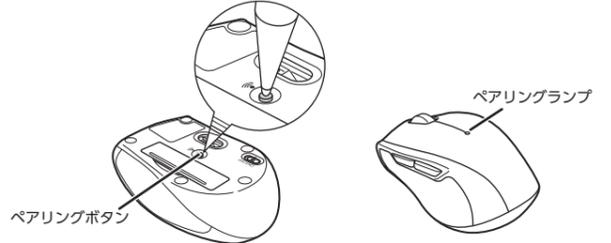
電池を電池収納部から取り出すときに使います。

Step 3 端末とペアリングする

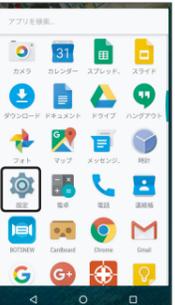
ペアリングとは、Bluetooth 機器同士(ここでは本製品とご使用端末)をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作のことです。

以下は Nexus 5x(Android 6.0.1)の画面で説明しています。

- 1 [Step 2 電源をオンにする]を参照してマウス本体の電源を ON にします。マウス本体裏面のペアリングボタンを先端の尖ったもので 2～3 秒長押しして、ボタンを離します。ペアリングモードに入ると、赤色のペアリングランプが点滅を始めます。



- 2 ご使用の端末の「設定」を開きます。



- 3 「無線とネットワーク」の「Bluetooth」を開きます。



- 4 「Bluetooth」が使用可能になっていることを確認します。使用可能になっていない場合は、ON・OFF 切り替えマークをタップして使用可能な状態にします。「Bluetooth」が ON の状態で「使用可能なデバイス」に「ELECOM VR Mouse」が表示され、そこから「更新」を選んでタップしてください。

- ❗ ご使用の端末により、Bluetooth の「使用可能な端末」の更新手順が異なります。ご使用の端末の説明書をご確認ください。

- 5 「使用可能なデバイス」から「ELECOM VR Mouse」を選択し、表示をタップします。自動的にペアリングが開始し、接続が完了すると「ペアリングされたデバイス」に表示されます。

- 🔧 ペアリングが上手くできない場合は、「使用可能なデバイス」から「ELECOM VR Mouse」を削除し、ご使用端末の「Bluetooth」を一度 OFF にし、マウスの電源も OFF にした後、再度ペアリングを行ってみてください。それでもペアリングできない場合は、「トラブルシューティング」(裏面)の内容をご確認ください。

これで VR マウスを利用できます。



